



長岡市大武遺跡
漆紐・漆塗土器・石匙
所蔵・写真提供 新潟県教育委員会

特別展

大武遺跡と 縄文前期の 土器文化

令和2年
9月26日(土)
→ 11月23日(月・祝)

長岡市馬高縄文館
— 火焰土器ミュージアム —

<https://www.museum.city.nagaoka.niigata.jp/umataka/>

開館時間: 午前9:00~午後5:00(入館は午後4:30まで)

休館日: 毎週月曜日

観覧料: 200円(高校生以下無料・20名以上団体150円)

主 催: 長岡市教育委員会

共 催: 信濃川火焰街道連携協議会

問合せ: 0258-46-0601



信濃川火焰街道

長岡市馬高縄文館 令和2年度特別展
大武遺跡と縄文前期の土器文化



長岡市大武遺跡の発掘調査風景と出土資料（所蔵・写真提供：新潟県教育委員会）

火炎土器がつくられる以前の縄文時代前期（約7,000～5,500年前）の新潟県域には、遺跡数は少ないながらも、周辺のさまざまな地方から影響を受けて、多彩な形や文様をもつ土器文化が広がっていました。長岡市和島地域の大武（だいぶ）遺跡など、新潟県内の発掘資料から、その様相をさぐってみます。

展示予定資料の出土遺跡

アチャ平遺跡（村上市） 二軒茶屋遺跡（胎内市）
現明嶽遺跡・室谷洞窟遺跡（阿賀町）
笹山前遺跡・新谷遺跡・布目遺跡（新潟市）
刈羽貝塚（刈羽村） 大湊遺跡（柏崎市） 清水上遺跡（魚沼市）
赤羽根遺跡・干溝遺跡・清津宮峯遺跡・泉竜寺遺跡（十日町市）
善光寺浜遺跡・鍋屋町遺跡（上越市） 大堀遺跡（妙高市）
諏訪前東A遺跡（津南町） 大武遺跡（長岡市） ほか

関連講座

「縄文前期のムラと土器文化～大武遺跡と赤羽根遺跡」

日時 10月18日(日) 午後2時～3時30分
講師 石原正敏氏（十日町市博物館副館長）
小熊博史（当館館長）
会場 馬高縄文館学習室
定員 30名
参加料 無料（参加者は展示室を無料で観覧できます）
申込み 9月10日(木)から 馬高縄文館（TEL0258-46-0601）へ



交通のご案内

- JR 長岡駅大手口5番線長岡＝柏崎線バスで関原南下車
- 関越自動車道・北陸自動車道長岡 I.C から車で約3分